

助手席リフトアップシート 操作の流れ

●安全のため各操作は介助の方が確実に行ってください。 ※写真は降車時の手順を説明しています。乗車時は逆の手順で行ってください。[参考]写真のモデルの身長は150cmです。



ワイヤレスリモコン
A シート上昇スイッチ
B シート下降スイッチ
C 電源スイッチ



シートは背もたれが倒れずに外側に回転します。



ワンモーションのスムーズな動きで、引き続きシートは自動的に下降します。

※シートは任意の高さで止められ、下降を停止した時の高さを自動的に記憶します(メモリー範囲は最下端から200mm)。

助手席ドアを全開にして、ワイヤレスリモコンスイッチ(または、シート昇降スイッチ)を押し続けると、回転開始位置までシートがスライドして、背もたれ角度を自動的に調整します。

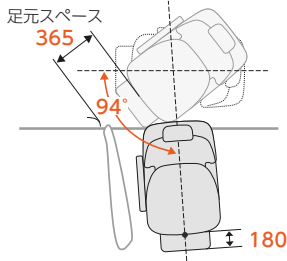
※助手席アームレストとフットレストをご使用ください。

※シートベルトを着用しているときは、ワイヤレスリモコンスイッチやシート昇降スイッチを押してもシートは回転しません。

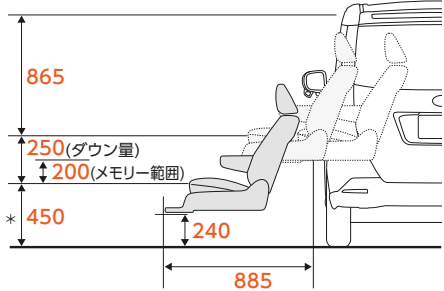
※シートは乗車完了時のシートポジション(スライド位置・リクライニング角度)を自動的に記憶します。

助手席リフトアップシート車 諸元 (単位:mm)

回転時・昇降時寸法



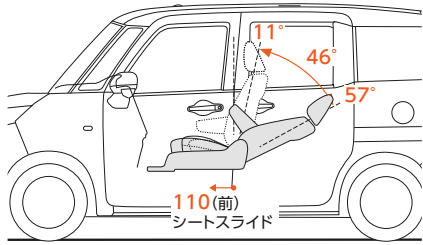
※フロントドア(助手席側)の開口角度は80°(標準車と同じ)です。



※シートの座面高は座面中央最高部までの寸法です。

リフト能力: 100kg(シートを除く)	回転・下降時間: 35~45秒
	上昇・回転時間: 35~45秒

シートバック角度・リクライニング角度・シートスライド量



※運転席は標準車と同じ数値です。

●各寸法値は設計値を示します。実測値は若干異なることがあります。



助手席リフトアップシート車について

シートに深く着座できない方、ひざや首が曲がらない方の場合、足や頭がボディにあたり、座った状態でのシートの回転が困難になりますのでご注意ください。

- 体勢保持のため、助手席アームレストとフットレストをご使用ください。
- 助手席リフトアップシートは、標準車のシートとは異なります。フルリクライニングはできません。シートスライド量、シートバック角度も標準車とは異なります。また、シート格納時座面が標準車と比べて約15mm高くなります。
- 助手席リフトアップシートにチャイルドシートは装着できません。
- 助手席側リヤシートのダイブイン格納ができません。